

令和 8 年度

定 期 総 会

事業報告

想いをつなげる。カタチにする。

N P O 法 人

湘 南 ス タ イ ル

令和 8 年 6 月 25 日(木) 18 : 30 ~

茅ヶ崎市勤労市民会館

定 期 総 会 次 第

1. 開会挨拶

1. 理事長挨拶

1. 第 1 号議案 令和 7 年度 事業報告

1. 第 2 号議案 令和 7 年度 決算報告・監査報告

1. 第 3 号議案 令和 8 年度 事業計画（案）

1. 第 4 号議案 令和 8 年度 収支予算（案）

＜総括報告＞

本年も無事、事業を推進できたことメンバーの皆さんに感謝いたします。

NPO 法人湘南スタイルは、湘南地域における人と人とのつながりを育むことを目的に活動してきました。設立以来、地域で活動する個人や団体、企業、行政とのネットワークづくりを進め、多様な主体を結びつける役割を担ってきました。

その取り組みの一つとして実施してきた「湘南 100 プロジェクト」では、地域で活躍する多様な人材の発掘や交流の機会づくりを行ってきました。その活動の中で生まれたつながりや関係性を土台として、2023 年 11 月に「茅ヶ崎カンパニー」がスタートしました。

現在約 70 名のメンバーが参加し、関わり方の濃淡はあるものの、メンバー同士の交流や対話から 10 を超えるプロジェクトが生まれています。それらは助成金を活用して展開されているもの、企業からの協賛や支援を受けて実施されているもの、そしてメンバーが自らの専門性や経験を持ち寄るプロボノ活動として継続されているものなど、多様な形で地域に新たな価値を生み出しています。

また、茅ヶ崎市市民自治推進課との連携により、市役所職員とメンバーが共に学び対話する研修も実現しました。行政はサービスを提供する側、市民は受け取る側という関係ではなく、同じ地域の未来をつくる仲間として互いを理解し合う機会となりました。

私たちは、人と人、人と企業、人と行政をつなぐことで、新たな活動や協働が生まれる土壌を育んできました。今後も湘南スタイルは、多様な主体が出会い、学び、挑戦できるプラットフォームとして、地域に新たな価値を生み出す活動を続けてまいります。

＜NPO 法人湘南スタイル 20 年の歩み＞

2005 年	2005 年 6 月まちづくり NPO 法人「湘南スタイル」設立 初代理事長 藁品孝久 就任
2006 年	湘南地域ポータル Web サイト開設
2008 年	茅ヶ崎市市民提案型協働推進事業 「おいしい茅ヶ崎」受託 茅ヶ崎市産米を活用した災害備蓄食糧 「おかゆ」を開発・販売（14,000 食完売）
2009 年	「湘南みかんの木パートナーシップ」事業開始 東海大学との連携開始
2010 年	「ふれあい畑塾」開始 地域農業支援事業を本格化
2012 年	茅ヶ崎市協働事業 「FuboLabo ちがさき」開設 子育て世代向け情報発信事業を展開
2014 年	「食と農」をテーマとした活動を展開 農産加工品ブランド「湘南工房」の基盤づくりを進める
2015 年	NPO 法人設立 10 周年 自主事業を中心とした運営体制への転換を開始
2016 年	「湘南工房ブランド」開発 茅ヶ崎市行政提案型協働事業 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」実施 「落書き防止・抑制のためのペイント事業」実施
2018 年	第 2 代理事長 市川信治 就任 神奈川県との協働事業として 「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」開始
2020 年	湘南ワンハンドレッドプロジェクト最終年度 コロナ禍におけるキッチンカー支援事業開始

2021 年	第 3 代理事長 渡部健 就任 湘南スタイル第 2 創業期がスタート 「ちがさきこども選挙」開始
2022 年	湘南フードトラック協会事業開始 食を通じた地域活性化事業を本格展開
2023 年	湘南ワンハンドレッドプロジェクトから発展した 「茅ヶ崎カンパニー」始動
2024 年	茅ヶ崎カンパニー会員が 60 名を超え、 地域課題解決型プロジェクトが本格始動
2025 年	茅ヶ崎カンパニー会員約 70 名 10 を超えるプロジェクトが活動 湘南フードトラック協会登録事業者 233 事業者、 年間 848 台の出店をサポート
現在	湘南みかんの木パートナーシップ、 ふれあい畑塾、湘南工房、 茅ヶ崎カンパニー、湘南フードトラック協会などの事業を展開し、 人と人、人と企業、人と行政をつなぐ 地域プラットフォームとして活動中。

「想いをつなげる カタチにする」

設立以来、多くの人の想いや挑戦が受け継がれ、新たな仲間やプロジェクトへと発展してきた。湘南スタイルはこれからも、人と人、人と企業、人と行政をつなぎながら、地域にある想いをかたちにしていく。

＜第 1 号議案＞

NPO 法人湘南スタイル 令和 7 年度事業報告

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

1.日程 開催会議

定期総会 2025 年 6 月 27 日(金)
理事会 6 月 19 日(金)、8 月 21 日(木)、10 月 17 日(金)、12 月 19 日(金)
2 月 20 日(金)

2.実施事業報告

- | | |
|---------------------------|-------|
| ① 湘南みかんの木パートナーシッププログラム | 17 年目 |
| ② ふれあい畑塾 | 13 年目 |
| ③ 地場商材開発販売(湘南工房) | 13 年目 |
| ④ 茅ヶ崎カンパニー(湘南 100 プロジェクト) | 8 年目 |
| ⑤ 湘南フードトラック協会 | 6 年目 |

以上 5 つのプロジェクトを無事終了することができました。既存のプロジェクトは継続しつつ、新たなプロジェクトも軌道に乗り始め充実の 1 年となった。

3.財務状況

当期は、日本フィランソロピック財団による湘南フードトラック協会事業への助成金、積水ハウスによる茅ヶ崎カンパニーのプロジェクト「ちがさきこども選挙」への助成金を獲得することができた。また、茅ヶ崎カンパニーにおいては、道の駅を運営する株式会社ファーマーズ・フォレストから市内観光造成ツアーおよび観光土産品開発事業を受託するなど、新たな事業機会の創出につながった。

長年継続してきた湘南みかんの木パートナーシッププログラム、ふれあい畑塾、農産加工品販売「湘南工房」が安定的に推移する一方、茅ヶ崎カンパニーや湘南フードトラック協会事業も着実に成長し、自主財源の確保に貢献した。

それぞれの事業が相互に補完し合いながら、法人運営の安定化につながった。

補助金・助成金、受託事業、自主事業のバランスが取れた財源構成となり、各事業が堅調に推移したことで法人運営の安定化につながった。資金繰りについても大きな不安なく運営することができた。

特定非営利活動に係る事業

<事業内容>

1.湘南「みかんの木パートナーシップ」事業 17年目

<内容>

大磯・二宮地区のみかんの木パートナーシップ組合から運営委託を受け、事業運営のサポートを行った。

近年のみかん価格の高騰により、農家にとってはJA出荷の方が有利な状況となっていることから、参加農家と協議を重ねた結果、今年度は二挺木農園、北原農園の2軒体制で事業を実施した。本事業を通じて、地域農業の維持とみかん農家の支援に引き続き取り組んだ。

数年ぶりにスターホーム株式会社の顧客向けみかん狩りイベントのアテンドも実施し、地域農業やみかん農家の魅力を伝える機会を創出することができた。

パートナー会員向けとして30口150箱、その他販売分として31箱を出荷し、合計1,810kg（昨年度1,830kg）のみかんを販売。また、加工用みかん1,000kgを進和学園へ納品し、合計2,810kgのみかんを農家から購入した。

【課題】

みかん価格の高騰や顧客数の減少など事業を取り巻く環境は変化しているが、事業そのものは縮小傾向ではあるが継続できている。一方で、今後も事業を継続していくためには、運営を担う人材の確保と新規顧客の開拓が必要である。

【大学との連携】

今年度も東海大学との連携を継続して実施した。

8月26日には二挺木農園を訪問し、二挺木氏から現場の課題についてヒアリング及び、第1回目の授業を開催。10月10日には第2回目の授業を実施し、引き続き山口直氏に講師を務めていただいた。

また、東京みかん愛好会とは、5月6日に開催された「おなはみかん（新歓コンパ）」への参加、8月1日の摘果体験などを通じて交流を深めた。

【活動報告】

4月24日(木)	東大みかん愛好会 今年度の活動ミーティング
4月25日(金)	東海大学万城目教授 今年度の活動ミーティング
6月7日(土)	東大みかん愛好会圃場見学
6月23日(月)	東海大学万城目教授 打ち合わせ
7月21日(月)	東海大学万城目教授・富田教授 打ち合わせ
8月1日(金)	東大みかん愛好会・東海大学 摘果体験
8月20日(水)	東海大学 今期の授業についての打ち合わせ
8月26日(火)	東海大学 二挺木農園見学
8月26日(火)	東海大学 第1回目授業
10月10日(金)	東海大学 第2回目授業

11月11日(火)	スターホーム みかん狩りイベント
11月15日(土)	二挺木農園みかん狩りイベント
11月22日(土)	北原農園みかん収穫サポート

・PJメンバー	中村(雅)・山口直・渡部	
・対象者	みかん農家・一般消費者・企業・東海大学・東大みかん愛好会	
・決算額	企画・パンフ・イベント・みかん代金・加工品	98万円

2.ふれあい畑塾

13年目

〈内容〉

畑塾は鈴木塾長との連携により、東・西・南の3か所で展開している。東区画は10区画すべてが稼働している一方、西区画は16区画中14区画、南区画は13区画中11区画の利用となっている。

空き区画の解消に向けて、当年度はSNS広告を活用した会員募集に取り組んだ。また、現地説明会を実施し新規会員の獲得を進めたが、説明会への申込件数は2件にとどまり、空き区画の解消には至らなかった。

【課題】

西区画および南区画に空き区画があることから、引き続きSNSを活用した情報発信や現地説明会を実施し、新規会員の獲得を進めていく。空き区画の解消と安定的な運営体制の維持が今後の課題である。

【活動報告】

毎月第2第4土曜日	東・西区画指導日
毎月第2第4日曜日	南区画指導日
12月6日(土)	現地説明会
12月15日(月)	現地説明会

・PJメンバー	リーダー：渡部	指導者：鈴木	
・対象者	農業や食に関心のある市民・企業・地域団体		
・決算額	イベント費・SNS広告費		2万円

3.地場商材開発販売「湘南工房」 13 年目

＜内容＞

地産地消を推進する農産加工品開発販売事業として、湘南みかんを活用したみかんジュースやトマトジュース等の販売を行った。既存商品の販売は順調に推移しており、地域内外へ地元農産物の魅力を発信することができた。

また、株式会社ファーマーズ・フォレストから受託した観光土産品開発事業の一環として、「chigasaki farmers stories」ブランドを立ち上げた。新商品として「茅ヶ崎農家の一杯 おざのうで一途に育った玉ねぎポタージュ」、ならびに「のきさきフルーツプロジェクト」から生まれた「喜代の発酵クラフトコーラ」を開発し、道の駅茅ヶ崎での販売開始に向けた準備を進めている。

販売については、既存の取扱店舗に加え、各種マルシェやイベントにも積極的に出店し、商品の販路拡大と認知度向上に取り組んだ。

【課題】

既存商品の販売を継続しながら、新たに開発した商品の販路開拓と販売促進を進める必要がある。道の駅茅ヶ崎での販売をきっかけに、地域農産物を活用した商品のブランド価値向上と販路拡大を目指したい。

- ・PJ メンバー 大西・中島・渡部
- ・対 象 者 農業者・加工事業者・小売店・飲食店・一般消費者
- ・決 算 額 原材料費・資材・運賃・営業費 150 万円

4.茅ヶ崎カンパニー(湘南ワンハンドレッドプロジェクト) 8 年目

＜内容＞

2018 年から 3 年間、かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金を活用し、神奈川県総合政策課および湘南地域県政総合センター企画調整課との連携によりスタートした湘南ワンハンドレッドプロジェクトから発展した事業。2023 年 11 月より「まちがまるごと仮想会社 茅ヶ崎カンパニー」として本格始動し、現在は約 70 名のメンバーが所属して活動している。

メンバー同士の交流を深める「カンパニードリンクス」を偶数月に開催するとともに、新規プロジェクトのプレゼンテーションや既存プロジェクトの進捗共有を行うオンラインの「カンパニーミーティング」を奇数月に開催した。また、ボードメンバーによる運営会議を毎月第 2 水曜日に開催し、組織運営とプロジェクト推進を行っている。

メンバー同士の交流や対話から 10 を超えるプロジェクトが生まれ、助成金を活用して展開されているもの、企業からの協賛や支援を受けて実施されているもの、メンバーが専門性を持ち寄るプロボノ活動として継続されているものなど、多様な形で地域に新たな価値を生み出している。

また、「ちがさきことも選挙」プロジェクトでは積水ハウスの助成金を獲得し、主権者教育や、次世代のまちづくりへの参画を促進する取り組みを展開した。さらに、株式会社ファーマーズ・フォレストから市内観光造成ツアーおよび観光土産品開発事業を受託するなど、地域課題の解決と地域資源の活用につながる活動も進めている。

茅ヶ崎市市民自治推進課との連携により、市役所職員とメンバーが共に学び、対話する研修も実施した。行政をサービスの提供者、市民を受益者として捉えるのではなく、同じ地域の未来をつくる仲間として関係を築く機会となった。

2024 年度に採択されたトヨタ財団国内助成プログラム「地域における自治を推進するための基盤づくり」の支援も活用しながら、地域における新たな市民活動や協働の創出に取り組んでいる。

【活動報告】

毎月第2火曜日	ボードメンバーミーティング
偶数月の第3火曜日	カンパニードリンク
奇数月の第3水曜日	カンパニーミーティング
プロジェクト毎のミーティングは別途開催	

- | | |
|---------|---|
| ・PJメンバー | 中村(容)・山口(順)・内波・池田・原・市川(靖)・市川(歩)
小野寺・大西・那須・中島・山口(直)・四條・渡部 |
| ・対 象 者 | 地域住民・企業・各種団体・行政 |
| ・決 算 額 | 会場費・謝金・業務委託費
821万円 |

5.湘南フードトラック協会) 6 年目

〈内容〉

キッチンカーを活用した地域活性化を目的とする湘南フードトラック協会の運営を行っている。会員事業者と企業、行政、イベント主催者をつなぎながら、新たな出店機会の創出や地域イベントの活性化に取り組んだ。

協会に登録するキッチンカー事業者は累計 233 事業者となり、今期は 848 台に対して企業、行政、商業施設、地域イベントなど様々な出店場所を提供した。

今年度も東邦チタニウム、住友電工オブティフロンティア、モリタ宮田工業、三菱電機大船工場をはじめとした企業との連携を継続するとともに、市内外のイベントへの出店調整や運営支援を行った。また、2025 年 7 月に開業した「道の駅 湘南ちがさき」への出店支援や調整にも関わり、会員事業者の販路拡大と活動機会の創出につながった。

防災分野においては、茅ヶ崎市との災害協定に加え、日本キッチンカー経営審議会湘南支部として神奈川県との災害協定を締結した。また、茅ヶ崎市主催の第一カッターきいろ公園で開催された防災フェスや、市役所前広場で開催された防災展に出展し、災害時におけるキッチンカーの役割や活用方法について普及啓発を行った。

さらに、日本フィランソロピック財団の助成金を活用し、協会活動の充実と運営基盤の強化を図った。SNS 運営担当および営業事務担当を業務委託により配置し、情報発信力の向上と事務局機能の強化を進めたことで、より安定した運営体制を構築することができた。

【主な出店・連携先】

東邦チタニウム(毎月 2 回、年 1 回の社内イベント)、住友電工オブティフロンティア(納涼祭)、モリタ宮田工業(社内イベント)、三菱電機大船工場(月 4 回)、茅ヶ崎市役所前広場(第 3 週月～金)、道の駅湘南ちがさき(偶数月の週末)、ランチ茅ヶ崎、第一カッター黄色公園(イベント)、辻堂海浜公園(イベント)、東横イン平塚、神奈川県庁、湘南藤沢徳洲会病院ほか

【活動報告】

毎月 1 回	運営メンバーミーティング
9 月 22 日(月)	広報メンバーミーティング
11 月 4 日(火)	広報メンバーミーティング
2 月 9 日(月)	広報メンバーミーティング

・PJ メンバー	内波・渡部
・対 象 者	キッチンカー事業者・商業施設・自治体・地域団体・一般消費者
・決 算 額	出店料・企画・運営・イベント費・消耗品 1,016 万

3. 組織

(1) 会員

正会員 21 名(理事含む) 会員 4 名 アドバイザー 1 名
理事長 渡部健 理事 内波義雄・池田和彦
監事 四條邦夫

正会員 21 名

順不同 敬称略

竹村治巨 (会社経営)	杉村一憲 (市民活動家)	藁品孝久 (市民活動家)
久保田邦邇 (市民活動家)	中村雅和 (社会保険労務士)	
西村誠 (会社経営)	市川歩 (会社経営)	中村容 (大学職員)
山口順平 (市議会議員)	四條邦夫 (NPO 代表)	那須かおり (法人代表)
内波義雄 (会社経営)	池田一彦 (会社経営)	山口直 (会社経営)
小野寺元希 (看護師)	原悠樹 (会社経営)	清水謙 (会社経営)
市川靖洋 (会社経営)	中島淳 (会社経営)	大西裕太 (会社経営)
渡部健 (NPO 代表)		

会員 3 名

順不同 敬称略

鈴木稔彦 (農家) 菊池奈々 (市民活動家) 山宮立珠 (ピアノ講師)

法人会員 3 社

(株)ボンド (特非)セカンドワーク協会 (一社)4Hearts

名誉顧問 2 名

竹村治巨 杉村一憲

<第2号議案> 令和7年度 活動計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	54,000	36,000	
2 法人会費	30,000	0	
3 法人事業収入	100,000	12,320	イベント商品販売等
4 湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	
5 湘南みかんパートナーシッププログラム	840,000	1,188,700	パートナーシップ 28口、みかん箱販売 24箱
6 ふれあい畑塾	1,100,000	864,484	21区画
7 地場商材開発販売(湘南工房)	4,500,000	1,872,645	みかん・トマトジュース・化粧品販売
8 茅ヶ崎カンパニー(湘南100PRJ)	1,500,000	9,562,768	助成金、業務受託料、イベント会費、寄付金
9 湘南フードトラック協会	3,000,000	10,860,369	業務受託料
10 トヨタ財団 のきさきフルーツ	2,800,000	1,884,292	助成金、八朔シロップ販売
当期収入計(A)	13,924,000	26,281,578	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計 (A)	13,924,000	26,281,578	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	
②湘南みかんパートナーシッププログラム	720,000	982,339	みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	150,000	19,197	イベント費等
④地場商材開発販売(湘南工房)	3,800,000	1,496,067	みかん・トマト・原材料等
⑤茅ヶ崎カンパニー(湘南100PRJ)	1,100,000	8,207,733	会場費・謝金・業務委託費
⑥湘南フードトラック協会	2,500,000	10,162,467	業務委託費・謝金
⑦トヨタ財団 のきさきフルーツ	2,800,000	1,884,292	会議費・販促費・振込手数料
当期事業支出(B)	11,070,000	22,752,095	
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000	1,800,000	団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0	0	アルバイトスタッフ等
③ 運賃	20,000	12,285	配送料
④ 会議費	30,000	1,020	総会 勤労市民会館
⑤ 旅費交通費	10,000	1,120	高速代
⑥ 通信費	80,000	108,240	電話・ZOOM使用料
⑦ 消耗品費	120,000	42,856	事務関連
⑧ 水道光熱費	0	0	
⑨ 諸会費	20,000	6,000	湘南振興財団、しおかぜ湘南
⑩ 支払手数料	60,000	47,163	振込料、ネットバンキング使用料 他
⑪ 賃借料	0	10,000	コンテナ使用料、倉庫料入金
⑫ 保険料	50,000	48,273	NPO団体保険料
⑬ 租税公課	150,000	212,400	法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	10,000	0	
⑮ 顧問料	290,000	287,644	税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	10,000	0	コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	50,000	0	Webサイト更新
⑱ イベント費	50,000	0	イベント費
⑲ 業務委託料	80,000	0	
事業管理費計(C)	2,830,000	2,577,001	
当期事業支出 (D) (B)+(C)	13,900,000	25,329,096	
当期収益 (E) (A)-(D)	24,000	952,482	
その他事業会計より繰入	0	0	
営業外損益 (F)	0	54,445	
借入金返済支出	0	0	
経常利益 (G)=(E)-(F))	24,000	1,006,927	
次期繰越金	0	0	

＜第2号議案＞ 令和7年度 活動計算書

(その他事業に係る事業会計)

2025年4月1日から2026年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 事業収入			
①Web広告事業収入	0	0	
②その他広告事業収入	0	0	
当期収入計 (A)	0	0	
その他収益事業会計より繰り	0	0	
当期収入合計 (A)	0	0	
II 支出の部			
1 事業費			
①ポータルサイト広告募集事業			事業計画書(その他の事業)のとおり
Webサーバー設置費	0	0	サーバー構築費
通信費	0	0	インターネット回線
②その他の広告募集事業	0	0	
当期事業支出 (B)	0	0	
2 管理費			
消耗品費	0	0	
通信費	0	0	
研修費	0	0	
会議費	0	0	
事業管理費計 (C)	0	0	
当期事業支出 (D) (B) +	0	0	
当期収支差額 (A) - (D)	0	0	特定非営利活動事業会計へ繰入

貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和8年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 4,722,218 】	【 流動負債 】	【 2,466,085 】
現 金	20,719	買掛金	468,354
小口現金	40,273	未払金	0
普通預金	4,125,204	預り金	1,524,981
商品	243,739	仮受金	472,750
未収入金	269,743		
前払費用	22,540		
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
		負債の部合計	2,466,085
		純資産の部	
		【 株主資本合計 】	【 2,256,133 】
		【 資本金 】	【 0 】
		当期純損益金額	1,006,927
		【 利益剰余金計 】	【 2,256,133 】
		繰越利益剰余金合計	2,256,133
		純資産合計	2,256,133
資産の部合計	4,722,218	負債・純資産の部合計	4,722,218

貸 借 対 照 表

(その他事業に係る事業会計)

令和8年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 0 】	【 流動負債 】	【 0 】
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
敷 金		長期借入金	
		負債の部合計	0
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 】
		【 資本金 】	【 】
		【 利益剰余金計 】	【 0 】
		繰越利益剰余金	0
		純資産合計	0
資産の部合計	0	負債・純資産の部合計	0

令和7年度財産目録
令和8年3月31日 現在
(特定非営利活動に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資 産	現金	手許現金在高	20,719	
	小口現金	のきさきフルーツ他 1件 手許現金	40,273	
	普通預金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 他4件	4,125,204	
	商 品	期末在庫 みかん加工品	243,739	
	前払費用	テナント倉庫料 4月分 2件分	22,540	
	未収入金	(株)ダイナックパートナーズ 他 1件	225,132	
負 債	買掛金	進和学園	468,354	
	未払金		0	
	預り金	トヨタ財団、源泉所得税 他	1,524,981	
	仮受金	ふれあい畑塾 21区画	472,750	

令和7年度財産目録
令和8年3月31日 現在
(その他事業に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資 産				
			0	
負 債				
			0	

理事長
理事
理事
監事

渡部健
内波義雄
池田一彦
四條邦夫

令和7年度監査報告

令和7年度、湘南スタイル監査報告

令和7年度(2025年4月1日～2026年3月31日)の事業報告書、活動計算書

貸借対照表、財産目録及び附属会計関係の明細を監査した結果、適法に処理
記載されていると認める。

令和8年6月24日

神奈川県茅ヶ崎市室田2丁目12番22号
監事 四條 邦夫

＜第3号議案＞

令和8年事業計画

＜基本方針＞

設立20周年を迎えたNPO法人湘南スタイルは、「想いをつなげる カタチにする」をテーマに、これまで培ってきた人と人、人と企業、人と行政とのつながりを活かしながら、地域課題の解決と新たな価値創造に取り組む。

既存事業の安定運営を図るとともに、茅ヶ崎カンパニーを中心とした新たなプロジェクトの創出や、湘南フードトラック協会による地域活性化、防災分野での取り組みを推進する。また、農業支援や地産地消の推進を通じて持続可能な地域づくりに貢献していく。

20周年を一つの節目として捉えながらも、湘南スタイルに関わる一人ひとりの想いや挑戦をつなぎ、新たな活動やプロジェクトとしてカタチにしていくことで、地域の未来づくりに貢献していきたい。

＜会議予定＞

総 会	6月25日(金) ※予定	(正会員・会員)
理事会	偶数月 第3金曜日	(理事・監事・事務局長)
PJ会議	随時設定	(リーダー・メンバー)
会計会議	毎月最終火曜日	(渡部・大澤)

実施事業

特定非営利活動に係る事業

① 湘南「みかんの木パートナーシップ」事業

＜内容＞

大磯・二宮地区のみかんの木パートナーシップ組合の自主運営を支援しながら、みかん農家と消費者、企業、学生をつなぐ事業を継続する。近年のみかん価格の高騰や農家の高齢化が進む中、本事業を通じて地域農業の維持と持続可能な仕組みづくりを目指す。

東海大学万城目ゼミとの連携を継続し、摘果体験や授業、商品開発などを通じて次世代の担い手育成に取り組む。また、東大みかん愛好会との交流も深めながら、関係人口の創出を図る。

企業や地域団体との連携によるみかん狩りイベントや農業体験を実施し、農家の支援と地域資源の活用を進める。。

・PJメンバー	中村(雅)・山口(直)・渡部
・対 象 者	みかん農家・パートナー会員・一般消費者・学生 教育機関・行政機関・加工事業者・観光事業者・企業
・事業規模	収入100万円/支出80万円

② ふれあい畑塾事業

＜内容＞

農と触れ合いたい市民と農家をつなぐ地域コミュニティ事業として運営を継続する。空き区画の解消を重点課題とし、SNS や口コミを活用した情報発信を強化する。また、収穫祭などの交流イベントを実施し、塾生同士や地域とのつながりを深める。農地保全の観点からも、新たな利用者の確保と持続可能な運営体制の構築を目指す。

- | | |
|---------|--------------------------|
| ・PJメンバー | 鈴木塾長 渡部 |
| ・対象者 | 農業に関心のある市民・畑利用者・湘南スタイル会員 |
| ・事業規模 | 収入 105 万円/支出 10 万円 |

③ 地場商材開発販売(湘南工房)

＜内容＞

地域資源を活用した農産加工品の開発・販売を通じて地産地消を推進する。既存のみかんジュースやトマトジュースの販売を継続するとともに、「chigasaki farmers stories」ブランドの商品展開を進める。道の駅湘南ちがさきをはじめ、地域の小売店や飲食店、イベント等での販路拡大を図る。また、地域農産物の付加価値向上と規格外農産物の活用を通じて、持続可能な地域産業づくりに取り組む。

- | | |
|---------|--|
| ・PJメンバー | 中村(雅)・中島・渡部 |
| ・対象者 | 地域農家・加工事業者・小売店・飲食店・宿泊施設
観光事業者・一般消費者 |
| ・事業規模 | 収入 300 万円/支出 240 万円 |

④ 茅ヶ崎カンパニー

＜内容＞

「まちがまるごと仮想会社」をコンセプトに、市民・企業・行政がゆるやかにつながりながら、それぞれの想いや挑戦を実現していくコミュニティとして活動を継続する。

茅ヶ崎カンパニーでは、地域課題の解決やプロジェクトの創出だけでなく、地域との関わりを通じて仲間や居場所が生まれ、一人ひとりが幸せを感じられることを大切にしている。地域に関わることで新たな出会いや学びが生まれ、自分らしく挑戦できる環境づくりを進めていく。

また、関わり方に正解はなく、それぞれのライフスタイルや想いに応じた温度感で地域と関われることも大切にしている。プロジェクトの中心となって活動する人もいれば、イベントへの参加や情報発信を通じて応援する人もいる。多様な関わり方のグラデーションを認め合いながら、一人ひとりが無理なく地域とのつながりを持てるコミュニティを目指している。

既存プロジェクトの継続運営に加え、新たなプロジェクトの創出やメンバー同士の交流促進にも取り組む。また、茅ヶ崎市市民自治推進課をはじめとする行政や企業、地域団体との協働を進めながら、多様な人が地域と関わるきっかけを創出し、地域課題の解決と新たな価値創造を目指していく。

トヨタ財団助成期間終了後を見据え、自立した運営体制の構築と安定した財源確保にも取り組む。メンバー一人ひとりの想いや挑戦を応援しながら、それらを地域の活動やプロジェクトとしてカタチにしていくことで、持続可能なコミュニティづくりを進めていく。

一人ひとりの幸せが地域の幸せにつながり、地域の幸せが新たな挑戦を生み出ししていく。茅ヶ崎カンパニーは、そんな循環を育みながら、「世界一幸せなカンパニー」を目指して活動を続けていく。

- ・PJメンバー 内波 池田 山口(順) 中村(容) 市川(歩) 原 市川(靖)
市川(歩) 小野寺 大西 中島 山口(直) 中島 四條
渡部
- ・対象者 地域で挑戦したい人・地域と関わりたい人・企業
行政・NPO・各種団体
- ・事業規模 収入 300 万円/支出 240 万円

⑤ 湘南フードトラック協会

<内容>

フードトラックを活用した地域活性化と防災力向上を目的として活動を継続する。会員事業者への出店機会の提供や新規出店場所の開拓を進めるとともに、企業・行政・イベント主催者との連携を強化する。

道の駅湘南ちがさきや企業施設、市内外のイベント等への出店支援を継続し、会員事業者の販路拡大と経営支援に取り組む。

また、茅ヶ崎市および神奈川県との災害協定を活かし、防災イベントへの参加や普及啓発活動を通じて、災害時におけるフードトラックの役割の認知向上を図る。情報発信や事務局機能の強化を進めながら、持続可能な運営体制の構築を目指す。

- ・PJメンバー 内波 渡部
- ・対象者 キッチンカー事業者・企業・行政・商業施設
イベント主催者・地域住民・一般消費者・防災関係団体
- ・事業規模 収入 1,100 万円/支出 1,030 万円

<第4号議案> 令和8年度 収支予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

科 目	予算	法人繰入収入	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	186,000	186,000	12千円×15名/3千円×2名
2 法人会費	30,000	30,000	30,000円×1社
3 湘南みかんパートナーシップ事業	1,000,000	200,000	みかんパートナー30口
4 ふれあい畑塾	1,050,000	950,000	39区画稼働
5 地場商材開発販売(湘南工房)	3,000,000	600,000	みかん・トマトジュース・化粧品販売
6 茅ヶ崎カンパニー	3,000,000	600,000	会費・イベント収入・助成金・業務受託
7 湘南フードトラック協会	11,000,000	700,000	業務受託
当期収入計 (A)	19,266,000	3,266,000	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計 (A)	19,266,000	3,266,000	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
① 湘南みかんパートナーシップ事業	800,000		みかん・パートナーシップみかん代金
② ふれあい畑塾	100,000		イベント費・SNS広告費
③ 地場商材開発販売(湘南工房)	2,400,000		原材料費・マルシェ出店費・販促費
④ 茅ヶ崎カンパニー	2,400,000		会場費・謝金・業務委託費
⑤ 湘南フードトラック協会	10,300,000		業務委託費・謝金・出店料・賃借料
当期事業支出 (B)	16,000,000		
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000		団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0		アルバイトスタッフ等
③ 運賃	20,000		加工品発送等 ヤマト運輸
④ 会議費	30,000		会場費(勤労市民会館等)
⑤ 旅費交通費	10,000		レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	200,000		電話・郵便・zoom使用料・サーバー代
⑦ 消耗品費	100,000		事務関連
⑧ 水道光熱費	0		
⑨ 諸会費	20,000		諸会費(観光協会・湘南産業振興財団等)
⑩ 支払手数料	60,000		振込手数料、代引手数料
⑪ 賃借料	150,000		コンテナ倉庫使用料
⑫ 保険料	50,000		NPO団体保険料
⑬ 租税公課	250,000		法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	10,000		
⑮ 顧問料	290,000		税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	10,000		コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	240,000		Webサイト更新費
⑱ イベント費	0		イベント費
⑲ 業務委託料	0		
事業管理費計 (C)	3,240,000		
当期事業支出 (D) (B)+(C)	19,240,000		
当期収益 (E) (A)-(D)	26,000		
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益 (F)	0		
借入金返済支出	0		
経常利益 (G)=(E)-(F))	26,000		
次期繰越金	0		

～会費納入のお願い～

日頃より NPO 法人湘南スタイルの活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和 8 年度も引き続き活動を継続していくため、会費の納入にご協力をお願いいたします。

総会にご出席の方は、総会終了後に会場にて会費を受け付けいたします。現金のほか、PayPay、クレジットカードでのお支払いも可能です。

総会に参加されていない方は、下記口座へのお振り込みのほか、QR コードからクレジットカード決済もご利用いただけます。ご都合のよい方法でお手続きをお願いいたします。

【振込先】

湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 普通 4205592
トクヒ) ショウナンスタイル

【年会費】

正会員	12,000 円
会員	3,000 円
法人会員	30,000 円（一口）

※会費納入状況の確認作業を進めております。すでに納入済みの方はご容赦ください。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

NPO 法人湘南スタイルでは、助成金や委託事業、自主事業など様々な財源を活用しながら活動を行っています。会費は活動を支える大切な財源のひとつであるとともに、会員の皆さまに公平に活動を支えていただくための大切な仕組みです。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【クレジットカード決済はこちら】

スマートフォンで下記 QR コードを読み取り、会員種別を選択のうえお手続きください。

